

# 社会を生き抜く力を育む

～青少年の体験活動の充実に向けた企業の取組～

## 企業の中で青少年に多様な体験活動の機会を 青少年の体験活動推進企業表彰

### [平成27年度]

122事業の応募があり、文部科学大臣賞が2件(大企業部門1件、中小企業部門1件)、審査委員会特別賞が5件(大企業部門3件、中小企業部門2件)、審査委員会奨励賞が26件(大企業部門15件、中小企業部門11件)、選ばれた。本冊子は122事業の優れた実践を紹介している。

### [表彰の目的]

社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図る。

### [表彰の対象]

企業がCSRや社会貢献の活動として主催し、参加する青少年を公募して実施したもの。平成27年度表彰は平成26年4月1日～平成27年3月31日に実施された体験活動を対象にした。

### [これまでの実績]

平成25年度から表彰を開始。初年度の文部科学大臣表彰は、(株)リコーの「市村自然塾」。小学4年生から中学2年生が9か月間、隔週末に2泊3日の共同生活をして、農作業や星座観察などに取り組む。参加者は共に汗を流し、考え、ルールを守る体験を通じ、自ら成長する。異年齢の青少年に長期にわたって体験を提供する点などが評価された。平成26年度の文部科学大臣賞は、アサヒビール(株)の「日本の環境を守る若武者育成塾」。高校生チームが夏合宿の体験で得た学びを踏まえ、地域の課題解決のためのアクションプラン立案・実践、成果発表に至る半年間のプログラム。主体的、協働的に学ぶ「アクティブラーニング」であることや、地元で継続される点などが評価された。

青少年の体験活動推進  [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/ikusei/taiken.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm)



文部科学省

平成28年3月

担当:文部科学省生涯学習政策局青少年教育課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2TEL:03-5253-4111(代表) <http://www.mext.go.jp/>



### 文部科学大臣賞

#### [大企業部門]

パナソニック(株)  
映像制作支援プログラム  
「キッド・ウィットネス・ニュース(KWN)」

#### [中小企業部門]

(株)金沢大地  
コープ農園 大豆・味噌づくりコース

### 審査委員会特別賞

#### [大企業部門]

(株)静岡新聞社・静岡放送(株)  
子どもみらいプロジェクト ふじさん部

#### [中小企業部門]

(株)ユニクロ  
「届けよう、服のチカラ」プロジェクト  
横河電機(株)  
東京都放課後子供教室事業プログラム  
「あきるのクラブ」等との連携による  
「障害のある子どもの余暇活動支援」

#### [中小企業部門]

(株)モンテディオ山形  
モンテディオ山形夢クラス

#### [中小企業部門]

(株)琉球新報社  
新報サイエンスクラブ

### 審査委員会奨励賞

#### [大企業部門]

アデコ(株)  
「キャリア教育プロジェクト」～「はたらくマインド」を伝えていく参加型授業の取り組み～  
(株)NTTデータ  
～使う人から創る人へ～ NTTデータ 子どもIT体験教室 プログラミング入門

#### [中小企業部門]

KDDI(株)  
～ITと通信で、距離と震災を乗り越える!～「KDDI×Life is Tech! 東北イノベーターズプログラム」

#### [大企業部門]

佐川急便(株)  
佐川急便「高尾100年の森」自然体験教室

#### [大企業部門]

ALSOK(総合警備保障(株))  
ALSOKあんしん教室  
損害保険ジャパン日本興亜(株)  
みんなで守ろう!日本の希少生物種と自然環境「SAVE JAPAN プロジェクト」

#### [大企業部門]

大和ハウス工業(株)  
SAKURA PROJECT(桜プロジェクト)

#### [大企業部門]

(株)タカラトミー  
100ねんあそび。～未来のために、わたしたちができること～

#### [大企業部門]

(株)テレビ東京  
「テレビ東京の校外学習」～テレビ局の仕事 本物を体験する!～

#### [大企業部門]

東芝テックソリューションサービス(株)  
体験!レジ係  
トヨタ自動車(株)  
トヨタ白川郷自然学校「未来につながる人づくり」

#### [大企業部門]

(株)日本取引所グループ  
JPX起業体験プログラム  
日本郵便(株)  
「手紙の書き方体験授業」支援

#### [大企業部門]

三井化学(株)  
化学実験教室「ふしぎ探検隊」  
森ビル(株)

#### [大企業部門]

ヒルズ街育プロジェクト  
【中小企業部門】

(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋  
中・高・大学生ホテル就業体験実習

#### [中小企業部門]

(前)アルファグリーン  
戸塚まつり2014 MG牧場/大学生有志による0限活動「ヤギプロジェクト」

#### [大企業部門]

(株)伊徳  
5・A・DAY 親子で楽しく学ぼう体験学習/食育体験活動

#### [大企業部門]

(前)井上商店  
出前!うどん講習会

#### [大企業部門]

(株)玄米酵素  
食育に関する講演・家庭科の授業・料理教室  
高知ファイティングドッグス球団(株)  
高知ファイティングドッグスサマーキャンプ

#### [大企業部門]

(株)デルタスタジオ  
世界中にともだちをつくらう! いろいろな国の小学生と楽しくあそべるパーティだよ!

#### [大企業部門]

(株)東京ソワール  
フォーマルファッション&マナー講座と端切れを利用したもののづくり体験  
ネットヨタ群馬(株)  
ネットヨタ群馬 グリーンツーリズムキャンペーン  
(株)やすむら  
木育推進活動  
リヴァックスホールディングス(株)  
こども農業塾

「キッド・ウィットネス・ニュース・ニュース(KWN)」  
映像制作支援プログラム  
パナソニック(株)  
生活・文化



## 映像制作で協調性・創造性・コミュニケーション能力を向上

パナソニックの映像制作支援プログラム「キッド・ウィットネス・ニュース(KWN)」は子供自身の目線で物事をとらえ、発信していく活動である。映像制作を通じて表現力やコミュニケーション能力を高めることを目的とし、「考える力」「まとめる力」「伝える力」「チームワーク力」を養っている。

本プログラムは、平成元年にアメリカの子会社が開発し、日本では平成15年から始まり、参加校も年々増加している。“正解のない映像制作”という課題に子供たちが創造性や協調性、時にはリーダーシップを発揮しながら仲間と取り組む。

学校単位5人以上のグループで、「環境」「コミュニケーション」、そしてオリンピックを前に27年から新たに追加した「スポーツ」のうちいずれか1つをテーマに、半年余りをかけて5分間の映像を制作する。そのためにプロの映像作家が参加校に赴き、映像や撮影方法などをレクチャーする「映像制作体験ワークショップ」をはじめ、子供たちがパナソニックのWEB番組に参加してレポーター体験をする「KWNキッズレポート」、「指導者向け研修会」など、総合エレクトロニクスメーカーならではのきめ細かいサポートにも力を入れており、本物の体験をしてもらうことにこだ

わったプログラム運営を実施している。

完成した作品は毎年1回開かれるKWN日本コンテストにエントリーし、最優秀作品1点が世界19の国と地域が参加するグローバルコンテストに出場する。入賞校は海外で行われる表彰式に出席し、映像や直接的な交流を通してグローバルな感性を培う機会となっており、日本からは4年連続で入賞を果たした。

このような活動を滞りなく進めるために、プログラム担当部門の経営幹部が審査から表彰式まで関わるようにしている。また、プログラムへの理解を深めるだけでなく、プログラムの推進についても経営幹部や多くの社員から助言をもらい、改善につなげるようにしている。

さらにKWNを活用した東北復興支援のプログラムも展開している。平成23年からは「きっと わらえる2021」をスタート。地域の教育委員会や自治体と連携しながら、東北の子供たちにビデオ制作を通じて前に進む力を応援する。また、味の素グループの東北応援「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」とも連携し、KWN参加校の生徒が仮設住宅の避難者とともに料理教室を体験し、その様子取材した映像をWEB配信するなど、地域や他企業との連携も深めている。

### 教育的工夫と成果

- 映像作品を作る過程で「考える力」「まとめる力」「伝える力」そして「チームワーク」を養うことができる
- 全世界のプログラム参加校とのインターネットを介したビデオミーティングや他校訪問を行うことで、国際相互理解を深める

### 情報発信

- 専門のWEBサイト(KWN日本サイト)で作品づくりのあらゆるノウハウを情報提供
- コンテスト開催にあたり、テレビ・報道機関への案内やリリースの発信。特にローカル局・新聞とは綿密に連携

### 社内理解

- プログラム担当部門の経営幹部が審査から表彰式まで関わ

ることで、経営陣の理解促進を図る

- コンテストの開催や結果などを社内イントラネットで発信し、社員に情報を提供

### 本業活用

- プロ仕様の自社業務用映像機材の貸し出しや、プロカメラマンの派遣など、本物の体験にこだわりプログラムを運営

### 進行管理

- 映像の世界で活躍するカメラマン等の講師から、撮影方法や、シナリオの作り方・編集方法を直接学ぶ
- 指導頂く先生方を対象とした研修会を行い、映像制作のスキルや子供たちとのコミュニケーションのとり方を学ぶ



## 有機大豆栽培で身近な食への理解深める

「オーガニック大豆の種まきから収穫までの農作業と、自分たちが育てた大豆を活かした石川県産原料100%の味噌づくりの加工まで、一連の流れを継続して体験することにより、地元の食や旬、生物の多様性、有機農業を身近に感じる学びの場を創出したい」。

コープいしかわとの共催で実施した「コープ農園」は、石川県内で有機農業を手掛ける金沢大地が、生産者として消費者と互いに顔の見える信頼関係で結ばれる「双方向トレーサビリティ」を大切にしたいとの思い、作り手と食べる人との関係をより深く身近なものにしたいとの思いとが合致した格好で始まった。

1年目の平成26年度は21家族が登録し、計5回の農作業および加工体験には未就学児を中心に小学生も合わせて累計65人の子供たちが参加した。登録説明会では、有機農業や身近な食について、また大豆の優れている点や、国産大豆の現状、遺伝子組換え大豆などについて説明を受け、参加者たちは生産者の思いを理解した上で大豆栽培を行った。

6月の種まきから始まり、7月の除草、9月には枝豆を収穫して試食した。10月に大豆を収穫、翌年1月にはその大豆を使っての味噌を手づくりし、参加者たちは農業の苦勞と喜びも実感できた。とりわけ大豆の収穫

では、刈り取った大豆の枝を地面に叩きつける「豆たたき」から発展し、地面に敷いたブルーシートの上から大豆の枝を踏みつけて、さやから豆を取り出すなど、手足を使ってのダイナミックな作業を工夫しながら体験した。また畑の生き物の観察など、有機栽培ならではの自然との触れ合いを楽しめる機会にもなった。

このプログラムは1年目の構成を見直し、大豆づくりに特化する形で平成27年度も引き継がれた。枝豆収穫をなくし、味噌づくりもオプション企画とすることで、登録者がより手軽に大豆づくりを体験できるようにした。また、参加者に配布する自宅学習用リーフレットでは、生産者の立場から消費者に知ってほしいことなどの情報を提供し、金沢大学の教授からは知識や情報を自分の生活と結びつけるポイントなどの監修を受けた。前年度より、小さい子供連れの家族の参加が増え、継続参加の家族もあり、食への関心と理解を深めるのに役立っている。

このほか、金沢大地は以前から、食育活動を積極的に行っており、豆腐づくり教室や田植え体験などを通じて、農業や食品加工、生物多様性などを身近に感じられる活動を展開している。

### 教育的工夫と成果

- 小さい子供でも無理なく参加できるよう、主役になれるような工程を組み込む
- 畑の生物の多様性にも注目を喚起
- 収穫の喜びや食のありがたさなどを実感させる
- 手づくり味噌を作るまでの一連の流れの体験により、身近な農作業への関心を高める

### 情報発信

- 金沢大地ではFacebookや自社WEBサイトを通して体験の一連の流れを公開し、コープいしかわでは食育BLOGで発信

### 社内理解

- 「双方向トレーサビリティ」を大切にしたいという社の方針とも合致していたため、代表の指揮の下、意義のある活動として取り組んだ
- 通年の担当者1名以外に、作業の指導の内容に応じて、適性の高いスタッフが分担

### 本業活用

- 金沢大地の主要有機農産物の大豆が題材。生物多様性が豊かな有機農場を貸し出すことで家庭菜園では味わえない農体験を提供
- 日常的な肥培管理は本業の有機農業者が担当
- 昼食交流会や試食は自社の有機大豆を活かしたメニュー構成で、オーガニックな食事にこだわり、大豆本来の旨みを実感できるように工夫

### 進行管理

- 天候影響による日程・内容変更もあったが、合意を得ながら柔軟に対応。最終的な大豆収穫量は豊作となった
- 次年度は企業としての負荷が過大にならないよう構成を見直した26年度の体験内容をベースに自宅学習用リーフレットも配布
- 鎌の扱いなどにおいて安全性に配慮。コープいしかわの保険制度の適用も安心材料となった

(株)金沢大地  
コープ農園 大豆・味噌づくりコース  
生活・文化



(株)静岡新聞社・静岡放送(株)

自然・環境

こどもみらいプロジェクト  
ふじさん部

富士山を学び、守る 多彩なプログラム

平成25年6月、富士山が世界遺産に登録された。これを機に、地元の誇りである富士山を未来に継承するため、富士山について楽しく学ぶ体験学習をしようと発足したのが「ふじさん部」である。  
部員は一般公募で集まった県内小学生。27年度は191名が登録した。「まなぼう!まろう!いかそう!」を合言葉に、体験を通じて富士山について楽しく学ぶプログラムを実施している。富士山麓でのキャンプや、樹海・洞窟の探検、富士登山など、体験を通じて富士山の魅力を実感する活動のほか、富士山本宮浅間大社の公式参拝や富士山をモチーフとした年賀状作りなど富士山の文化的価値について学ぶ活動も実施。また、富士山の鹿の害について学ぶワークショップや、構成資産である三保松

(株)ユニクロ

自然・環境

“届けよう、服のチカラ”  
プロジェクト

不要となった服を 難民キャンプに

服には寒さや暑さをしのいだり、ケガや病気から身を守ることにつながる命を守るチカラや、おしゃれを楽しんだり、気持ちを明るくするなど人としての尊厳を守るチカラなどがある。世界で本当に服を必要としている人に、児童や生徒がそんな服の持つ役割や付加価値を着なくなった服とともに送るのが、“届けよう、服のチカラ”プロジェクトである。  
参加条件は授業、生徒会活動、委員会活動、部活動など20人以上で出張授業を受講できる小・中・高等学校で、ユニクロの社員が講師として学校を訪問する。「難民問題」を踏まえて服の持つチカラや回収した服がどのように役立てられるのかを写真や映像を交えて授業を行い、子供たちが自分にもできる社会貢献があることに気づききっかけを

横河電機(株)

生活・文化

東京都放課後子供教室  
事業プログラム  
「あきるのクラブ」等との  
連携による  
“障害のある子どもの  
余暇活動支援”

社員の趣味や特技を生かし  
障害のある子供に成功体験を

「自分たちの趣味や特技を生かして、障害のある子供たちに様々な体験の機会を」。横河電機は社会貢献専門部署を発足した平成20年度に、地域の特別支援学校にニーズを調査し、地域のイベントや行事に参加する機会が著しく少ないという現状を把握した。そこで障害のある子供たちの保護者からなる「あきるのクラブ」と連携して、社員たちが複数のプログラムを用意。子供たちが自ら選び、体験する活動を21年度から行っている。  
参加対象は小学部～高等部を中心とした障害のある子供とその兄弟姉妹。フラワーアレンジメント教室や外国人社員との異文化交流、茶

(株)モンテディオ山形

生活・文化

モンテディオ山形  
夢クラス

Jリーガーと語る 夢のすばらしさ

夢を叶えるためにはどうしたらいいのか、何が必要なのか。Jリーガーになるという夢を叶えたモンテディオ山形の選手たちが、子供たちと交流しながら「夢」について語り合い、夢への後押しをするのが「夢クラス」である。  
毎年、山形県内の全小学校に対して事業の案内をし、申し込みのあった学校から抽選で訪問校を決定する。小学5～6年生の総合学習の授業として45分～60分のクラスを年間14～20回開催しており、スタートした平成17年からこれまで6,000人以上が参加した。  
クラスでは選手の自己紹介のあと、児童が夢を発表し、選手からメッセージが伝えられる。そのあと選手への質問があり、クラブから選

(株)琉球新報社

科学・技術

新報サイエンスクラブ

自然科学をテーマに研究をサポート

「新報サイエンスクラブ」は児童生徒の「科学の芽」を育むため、自然や動植物などに興味を持ち、その興味を深められるような「気づき」を促す場として平成23年に発足した。(一財)沖縄美ら島財団総合研究センターの人材育成・公募研究助成事業と琉球新報社のNIE(教育に新聞を)活動を融合し、体験活動の事業を実施している。  
沖縄県内の小中学生を対象に「研究したいこと」「研究していること」を公募し、審査により奨励する研究テーマを採択する。採択された児童生徒(個人・団体)は決められた期間内に研究を行い、その内容を発表する。奨励数は小学生部門が20件、中学生部門が10件程度で、上限で小学生部門が1件あたり3万円、中学生部門で5万円が奨

原の保全活動など、地元大学や行政、NPOなどと連携したプログラムも取り入れ、その活動は多岐にわたる。  
毎回のイベントはストレートニュースとして報道するのはもちろん、参加した子供の感想や富士山豆知識は、月1回、静岡新聞日曜別刷りの小中学生向け新聞内に「ふじさん部通信」として掲載する。真剣に学んだことを自分の言葉で表現することが、より深い理解に役立ち、新聞に掲載されることで、さらに学びの意欲を盛り立てることにつながっている。部の活動をまとめたテレビ特別番組を放送するなど、本業である新聞・テレビ・ラジオのメディア媒体を活用して、活動の様子を発信している。  
さらに「ふじさん部」の認知度向上のため、公式キャ

作る。  
児童・生徒はそれぞれアイデアを絞り、告知のためのポスターや回収ボックスを作り、全校生徒や地域に不要となった服の回収を呼びかける。対象は子供服全般で、サイズやブランドは問わない。送られた人のことを考え、気持ちを込めて回収し発送された服は、選別し梱包されて難民キャンプに届けられる。その際、発送用の段ボール箱はユニクロから学校に送り、箱代や送料も同社が負担。学校側に経済的な負荷がかからない仕組みとなっている。  
この後、服が届けられた難民キャンプの様子を写真とレポートにまとめた「フォトレポート」が参加校に送ら

道教室、ハイキング、キックターゲット、ヒップホップダンス教室、サッカー教室といったプログラムに26年度は延べ350人が参加した。講師や指導者はそれらを趣味や特技とする社員たちで、これに地元のフットボールクラブやラグビー協会などが協力して開催された。  
本業とは全く違う分野であるため、社員一人ひとりの力によるところが大きい。横河電機ではグループの行動規範に明記しているように、地域や社会の共通の目標達成に協力している。この活動は「よき市民」であれ、という企業理念にも合致すると社員たちもとらえている。  
また家族や学校関係者のように障害に詳しいわけ

手のサイン入りグッズをプレゼントする。この基本プログラムに沿ってれば、各学校でリクリエーション的な要素を取り入れてもよい。選手を交えたミニゲームやリフティングなど要所にサッカーを取り入れることで、子供たちはプロの技を間近で見ることができ、サッカーへの興味を深め、クラブに対する愛着を高めるとともに、そのチームを擁する山形という地域への「誇り」を持つことにもつながる。  
夢を実現した選手たちだからこそ伝えることができる、夢の伝え方や夢を持つことの素晴らしさを子供たちに再認識させ、その道筋について考える場とする。また質問事項に関してもNG項目はなく、子供たちは率

励金として支給される。  
対象者が決まった後は、フォローアップと中間報告会が行われ、沖縄美ら島財団の専門職員や琉球大学、沖縄科学技術大学院大学(OIST)、沖縄県理科教育協会などと連携して、個々の児童生徒に合わせてきめ細かいサポートを行う。またOISTの見学会とミニ講演会も実施し、世界トップクラスの英知に触れる機会を提供している。翌年1月には研究発表会が開催されるが、研究に優劣はつけず、自分でまとめた発表することに重きを置いており、そのためのまとめ方セミナーも開くなど安心して研究できる環境を整えている。  
選ばれた児童生徒の紹介や研究の経過は「琉球

ラクター「フジノコ」を制作。キャラクターを活かしたオリジナルソングやオリジナル動画も展開している。今後はキャラクターを活かしたグッズの開発も計画。具体的には、三保松原保全を目的に、地元農業高校と共同で三保の松葉を利用した入浴料の開発および販売を計画しており、売り上げの一部は富士山の保全活動に活用するなど、活動の幅は徐々に広がりを見せている。  
小学校を卒業した子供や保護者からの参加の要望も多く、今後はそうしたOB部員との連携も図る予定で、富士山を愛する心、守っていく決意が全ての県民に根付くよう、県民を巻き込んだ活動を企画していく。

れる。世界的視野でプロジェクトに携わったという体験は、子供たちの達成感や自己有用感を醸成し、活動へのモチベーションにつながっている。  
この活動はエコ教育やキャリア教育に関する団体や企業、教育委員会、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)などと協力して行われ、平成27年のユネスコスクールでもプレゼンテーションされた。初年度の25年度には全国107校が参加、約10万5千着の回収、26年度は120校、約11万着、27年度は238校、約40万着と、支援の輪は広がっている。継続して参加している学校も多い。

ではないため、子供に対して限界を定めず、主体的な行動が促される。その結果、集中が続かない子が、茶道教室では静かに座ることができたりと、その時々で成長の一面が見られ、保護者や教師たちからも驚きの声が上がっている。こうした多様な“成功体験”は障害のある子供たちにもキャリア教育の目的の1つでもある「自尊心」や「人間関係構築能力」が培われ、生涯にわたってQOLの向上にもつながると考えられる。  
横河電機では社会貢献活動をする企業との交流会で情報交換し、互いのコラボレーションなども検討している。またこの他にも小学生を対象とした理科教室なども開催している。

直な疑問をぶつけることができる。講師となった選手を応援してくれるので、彼らにとっても貴重な経験となっている。カリキュラムとしてはある程度完成しているが、学校へのヒアリングなどを参考に直しも怠らない。  
「地域の人たちに必要な存在になる」ことをクラブのビジョンに掲げており、県内の子供たちを大切に、共に歩いていくことがクラブの発展になるとの考えのもと活動している。これ以外に地域や他企業との連携も進めており、選手たちの食事を通じた食育事業やホームゲームの無料招待など、青少年の育成事業を数多く行っている。

新報」の紙面とWEBサイトで紹介され、本人たちの励みになっている。また中には全国コンクールで中学部の2位を受賞した研究や、研究がきっかけでアジア地域初のメガマウスザメの化石が発見されるなどクラブに対する反響も大きい。  
参加者や保護者からは年間を通して研究に取り組むことで、物事への興味関心の高まりのほか、集中力や持続性が身に着き、研究への意欲も高まったとの声もある。クラブではこの事業を通して自然科学の研究者や環境学習・教育の指導者、地域に根ざした次代の沖縄を担う人材育成につなげたいとしている。



静岡新聞 SBS

<http://www.at-s.com/blogs/fujisanbu/>



<http://www.uniqlo.com/jp/csr/school/>



YOKOGAWA  
<http://www.yokogawa.co.jp/cp/csr/community/japan.htm>



<http://www.montedioyamagata.jp/>



琉球新報社  
<http://science.ryukyushimpo.jp/>

平成27年度  
青少年の体験活動  
推進企業表彰  
審査委員会  
奨励賞

【大企業部門】  
(五十音順)

アデコ(株)

職業・仕事

「キャリア教育プロジェクト」  
～“はたらく”マインドを伝えていく  
参加型授業の取り組み～

小学6年生をメインターゲットに「出前授業」を行い、子供たち自身で“はたらく”マインドと“職業”に興味を持ち、自分の強みや適性に気付くきっかけにつながるよう、キャリア形成の支援に取り組んでいる。



Adecco

<http://www.adecco.co.jp/>

(株)NTTデータ

科学・技術

～使う人から創る人へ～  
NTTデータ 子どもIT体験教室 プログラミング入門

小学生の全学年を対象に、初めて挑戦する子供でも楽しめるプログラミング教室を春と夏の年2回開催している。「やったら面白かった。もっとやりたい!」という心の種をまき、未来への可能性を広げる活動。



NTT DATA

[http://www.nttdata.com/jp/ja/corporate/csr/social\\_contribution/elementary\\_school/index.html](http://www.nttdata.com/jp/ja/corporate/csr/social_contribution/elementary_school/index.html)

KDDI(株)

職業・仕事

～ITと通信で、距離と震災を乗り越える!～  
「KDDI×Life is Tech! 東北イノベーターズ プログラム」

東北の未来を担う人材育成を目的とし、半年間のIT教育を実施。3日間のキャンプでWEB・アプリ制作の基礎を学んだ後、オンライン講座を通じて、地域の課題解決につながるWEBやアプリをチーム単位で企画。



Designing The Future あたらしい自由。

KDDI au

<http://news.kddi.com/kddi/corporate/csr-topic/2015/03/09/988.html>

佐川急便(株)

自然・環境

佐川急便『高尾100年の森』自然体験教室

佐川急便では、東京都八王子市にある社有林「高尾100年の森」において「里山とともにあった生活文化」、「里山の自然の恵み」など、里山を通じて「自然と人との繋がり」を学ぶ自然体験学習を、平成19年より継続的に開催している。



Sagawa TRANSPORT! COMMUNICATION SAGAWA

<http://www.sagawa-exp.co.jp/takao100pi/>

ALSOK(総合警備保障(株))

生活・文化

ALSOKあんしん教室

“守りのプロ”である社員を小学校に派遣し、「防犯」や「救急救命」の授業を行う。平成16年度より、のべ120万人以上が参加。活動活性化および品質向上のため、社内マイスター制度や研修制度を設けている。



ALWAYS Security OK ALSOK

<http://www.alsok.co.jp/company/society/ansin/>

損害保険ジャパン日本興亜(株)

自然・環境

みんなで守ろう!日本の希少生物種と自然環境  
「SAVE JAPAN プロジェクト」

子供たちを含む地域の方が環境保全活動に参加するきっかけを提供することを目的に展開する本プロジェクトは、平成27年12月末までに全国で603回、30,182人の方々にご参加いただいている。



SOMPO ホールディングス 損保ジャパン日本興亜

<http://savejapan-pj.net/>

大和ハウス工業(株)

生活・文化

SAKURA PROJECT(桜プロジェクト)

日本全国の小学校・幼稚園・保育園を対象に「プロの和楽器奏者による生ライブおよび演奏体験」と「桜の植樹」を行い、子供たちに日本文化や“和の心”について触れてもらう体験型プログラム。



Daiwa House 大和ハウスグループ

<http://www.daiwahouse.com/sustainable/social/contribution/sakura/sakura-project/>

(株)タカラトミー

生活・文化

100ねんあそび。  
～未来のために、わたしたちができること～

地球環境の悪化や資源の枯渇で「おもちゃが作れなくなる＝遊べなくなる」ことを、子供たちとタカラトミーの重要課題として共有し、鉄道玩具「プラレール」を題材に、環境配慮とものづくりを共に考える体験型出張授業を実施している。



TAKARA TOMY

<http://www.takaratomy.co.jp/company/sustainability/eco/communication.html>

(株)テレビ東京

職業・仕事

「テレビ東京の校外学習」  
～テレビ局の仕事 本物を体験する!～

取材用のカメラを担いでみたり生放送直前のキャスター席で原稿を読んだり…。テレビ番組が放送されるまでの実際の流れを見学、体験してもらうプログラムを平成23年度から実施している。小学5年生から高校生が対象。



TV TOKYO テレビ東京

<http://www.tv-tokyo.co.jp/csr/learning/index.html>

東芝テックソリューションサービス(株)

職業・仕事

体験!レジ係

平成18年度よりレジ係・レジの分解ワークショップ・バーコードの研究等の体験学習を提供。現役エンジニア・OBとの協働により、活動の多様性推進と世代間交流を図っている。特別支援学校・フリースクールでも実施。



TOSHIBA Leading Innovation >>>

<http://www.toshibatec-tss.co.jp/ttss/csr.html>

トヨタ自動車(株)

自然・環境

トヨタ白川郷自然学校  
「未来につながる人づくり」

平成17年より延べ16万人が来校、自然体験プログラムを体験。エコや自然との共生を考えるきっかけ作りから、共に育ち、育て合う「共育」へ発展させ、「自ら考え、行動する」ことのできる人づくりに取り組んでいる。



TOYOTA Shirakawa-Go Eco-Institute トヨタ白川郷自然学校

[http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/blessings\\_of\\_nature/sirakawa-go/](http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/blessings_of_nature/sirakawa-go/)

(株)日本取引所グループ

職業・仕事

JPX起業体験プログラム

株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育活動。本物のお金を使い、現実世界に限りなく近い条件で体験できる。



JPX JAPAN EXCHANGE GROUP

<http://www.jpjx.co.jp/learning/education/entrepreneur/program/>

三井化学(株)

科学・技術

化学実験教室「ふしぎ探検隊」

小中学生を対象に、化学技術に興味を持ってもらい、将来の化学技術を支える人材になってほしいという思いから、日常生活に身近な「化学のなぜ?」を実験テーマに選定した化学実験教室を平成18年から実施している。



三井化学

<http://jp.mitsuichem.com/csr/society/contribution/next-generation.htm>

森ビル(株)

生活・文化

ヒルズ街育プロジェクト

六本木ヒルズなどの実際の街を舞台にした親子向け体験学習プログラム。街づくりのノウハウや街の魅力を、未来を担う子供たちに伝えると共に、楽しく学びながら次世代の都市のあり方を考える。



MORI

<https://www.mori.co.jp/machiiku/>

日本郵便(株)

生活・文化

「手紙の書き方体験授業」支援

全国の希望する小学校、中学校及び高等学校に対し、手紙の書き方を学べるテキスト・郵便はがき等を無償で配布。学校授業を通して子供たちに、手紙のやり取り、手紙を送る楽しさ・もらう喜びを体験してもらう。



JP POST 日本郵便

<http://www.post.japanpost.jp/>

平成27年度  
青少年の体験活動  
推進企業表彰  
審査委員会  
奨励賞  
[中小企業部門]  
(五十音順)

(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

職業・仕事

中・高・大学生ホテル就業体験実習

中・高・大学生を対象に、ホテル内にて1週間～1ヶ月の就業体験を実施。実際の勤務時間に則り、清掃・給仕・接客業務を行う。震災語り部バスに乗り組んでの防災学習や、仮設住宅での地域住民との交流の場も提供する。



**南三陸ホテル観洋**  
http://www.mkanyo.jp/

(有)アルファグリーン

自然・環境

戸塚まつり2014 MG牧場/  
大学生有志による0限活動「ヤギプロジェクト」

「日常に生き物がいる」意義について、除草ヤギとの触れ合いを通して理解してもらう機会を提供し、畜産についても考えてもらう。また、有志大学生らが部活動として期間中除草ヤギの飼育を行っている。



**アルファグリーン**  
αGREEN  
www.a-green.org

(株)伊徳

生活・文化

5・A・DAY  
親子で楽しく学ぼう体験学習/食育体験活動

平成20年度より小学生対象に食育プログラムを実施。小学校7校対象に買物ゲーム、栄養バランス、サラダ作りを体験してもらい野菜摂取と食事バランスの大切さを学ぶ。26年度参加数454名となった。



**ITOKU 株式会社 伊徳**  
http://www.itoku.co.jp

(有)井上商店

職業・仕事

出前!うどん講習会

平成20年から、兵庫県の小・中学校を対象に、生きる上で必ず必要な「衣食住」のうちの「食」を、「うどんが小麦粉から麺帯へ、そして麺へ」となっていく過程を、五感を通して体験する機会を提供。



**淡路島 長**  
井上商店 http://www.wakameya.jp/

(株)玄米酵素

生活・文化

食育に関する講演・家庭科の授業・料理教室

墨田区学校支援ネットワークからの依頼により、学校に出前授業(料理教室や家庭科の授業など)を行う。また、墨田区以外の学校からの依頼で食育講演を行う。



**株式会社 玄米酵素**  
https://www.genmaikoso.co.jp/

高知ファイティングドッグス球団(株)

自然・環境

高知ファイティングドッグスサマーキャンプ

野球の独立リーグ、四国アイランドリーグplusに所属する高知ファイティングドッグスのホームタウンである越知町の豊かな自然を体験し、ドッグスの選手とミニゲームやバーベキューなどで触れあう1泊2日の活動。



**FIGHTING DOGS KOCHI**  
http://www.fighting-dogs.jp/volunteer.htm#012

(株)デルタスタジオ

生活・文化

世界中にともだちをつくらう!  
いろいろな国の小学生と楽しくあそべるパーティだよ!

中高生より、日本人と外国人の子供が交流して互いに理解ができる機会をつくりたい、という提案があったため事務局として運営の支援をし、子供たちが中心となり、互いの文化に触れるゲームやビンゴ大会を行った。



**DELTA STUDIO**  
http://www.delta-studio.jp

(株)東京ソワール

生活・文化

フォーマルファッション&マナー講座と  
端切れを利用したものづくり体験

小学生から中学生までを対象に、「冠婚葬祭」をキーワードとした「フォーマル」の意味を理解してもらう講座と、端切れを利用した「コサージュ」を作り、ものづくり体験をするプログラムを平成22年から実施。



**TOKYO SOIR**  
株式会社 東京ソワール http://www.soir.co.jp/

ネットヨタ群馬(株)

自然・環境

ネットヨタ群馬  
グリーンツーリズムキャンペーン

子育てファミリー世代を中心に参加者を募り、約5年間で5000本を植樹した赤城山「ネットヨタ群馬金丸の森」で野外料理や観察会を体験したほか、県内の自然公園でアサギマダラの生体調査なども行った。



**NetZ ネットヨタ群馬**  
http://www.netzgunma.co.jp/

(株)やすむら

自然・環境

木育推進活動

森林の役割を学び、伐採し上手に使い植えて育てる「木育講座」と、端材で、小箱ベン立てマイ箸を作る「木工教室」をセットで、幼稚園小学校中学校への出前授業を行い、国産木材の利用と物づくり文化の伝承につなげている。



**株式会社 やすむら**  
http://www.kk-yasumura.com

リヴァックスホールディングス(株)

自然・環境

こども農業塾

兵庫県西宮市内の小学4年生から6年生を対象に、半年にわたって米づくりや土づくりなど、自然や食べ物に関わるさまざまな体験をすることにより、農業の楽しさや作物を育てることの難しさ、自然循環の大切さを学ぶ。



**REVACS GROUP**  
http://www.revacs.com/csr/new\_activity/

青少年の体験活動の充実に向けて

子供たちが家庭や学校の枠を越え、地域で様々な形で体験を通じて学習する「体験活動」に期待が高まっている。活動の機会を提供するのは、地元の企業や団体である。それぞれが持つ人材、資産、そして本業におけるスキル等を活かして、青少年が「社会を生き抜く力」を身につけるために、多様な体験活動を創出している。

ではなぜ今、青少年の体験活動が必要なのか。

少子・高齢化やグローバル化、情報通信技術の進展、経済活動や雇用活動の急激な変容など、青少年をとりまく社会はめまぐるしく変化している。このような時代を生き抜くために求められるのはコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と協働する力である。

中央教育審議会の答申『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について』(H27.1)では、「これからの子供たちには、厳しい挑戦の時代を乗り越え、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められている。子供たちの生きる力は、学校だけで育まれるものではなく、家庭における教育はもちろんのこと、多様な人々と関わり、多様な経験を重ねていく中で育まれるものであり、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して、子供たちは心豊かにたくましく成長していく。」としている。また、平成27年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」では、地方創生の実現に向けて、これからの子供たちには、地域への愛着や誇り、地域課題を解決していく力が求められるとしている。

このように、これからの子供たちの学びや育ちを支援するに当たってのキーワードが見えてくるのではないだろうか。ひとつは「多様な経験」であり、ひとつは「地域とのつながり」である。

ところが現状は、「多様な体験」一つとってみても、子供たちの多くは心や体を鍛える機会や遊びの場も少ない。保護者の経済力や地域情報により、体験する機会に格差が生まれている。もはや、家庭だけ、学校だけにこれらの問題の対応を望むことは難しく、家庭、学校、そして地域が手を携えて、教育的な見地に立って子供たちに体験活動の場を提供することが必要とされているのである。

「青少年の体験活動推進企業表彰」は中央教育審議会の答申『今後の青少年の体験活動の推進について』(H25.1.21)を受けて始まった。3年目を数える今回は従来の大企業のみならず、全国の中小企業からも多くの応募があった。応募の内容も、多様であり、継続して体験活動

を行っている企業は、対象者を広げながら改善を行っており、体験活動への理解の深まりが認められた。

多くの人と関わりながら体験を積み重ねることは、コミュニケーション能力や自ら考え動く力を身につけ、人間性豊かな、たくましい青少年を育成する。今後、さらに推進していくためには、体験活動を提供した側だけでなく、これらの活動に積極的に参加した青少年をしっかりと評価することも忘れてはならない。

また企業側にとっても体験活動を推進することが社会的な信頼を増し、地域課題の解決に貢献し、また地方創生といわれる中で「ひとづくり」にも関わっていくということにもつながる。活動を通して企業が地域を育み、地域が企業を育てていく。今後、国や地方公共団体等と企業・団体との連携を強め、積極的に働きかけることにより、青少年の体験活動の充実につなげたい。

## 広がる企業の体験活動

### 【大企業部門】

(五十音順)

### 職業・仕事

(株)西日本新聞社  
http://kodomo.nishinippon.co.jp/

#### 西日本新聞こども記者

九州在住の小学4年～中学3年生を対象に、平成22年から開始。今年度は70人が1年間の活動期間中に新聞記者体験をして、西日本新聞朝刊に毎日掲載する紙面「もの知りタイムズ」へ記事を掲載した。

日本テレビ放送網(株)  
http://www.ntv.co.jp/taiken/

#### 日テレ体験教室

技術制作チームが中継車とともに学校などを訪問する「日テレ体験教室」を平成19年から実施。放送の仕組みの解説やテレビ制作の実演を通してメディアリテラシーを学び、さらに実際の放送機材の操作体験も行う。

(株)ハチバン  
http://www.hachiban.co.jp

#### ハチバン親子料理教室&工場見学

食品工場(生麺・ギョーザ製造)を見学した後、親子で野菜を切るところからラーメンを作り、家庭用フライパンで餃子を焼く。カラダに良い食材を使って「自分で作る」ことを、親子で体験する。

東愛知日産自動車(株)  
http://www.tanpopo-village.jp/

#### 東愛知日産 豊橋柱店「子ども整備士体験講座」

店舗を構える近隣地区の生活者に対し、「親子でNISSANに遊びに行き、お子様がプロの整備士と一緒に車の点検を体験していただく」という子供向けの職業体験プログラムを実施。

(株)フジテレビジョン  
http://www.fujitv.co.jp/csr/anasen/index.html

#### あなせんプロジェクト

主に小学生を対象に、コミュニケーション能力の向上をめざし「伝えるプロ」である現役アナウンサーが発声・滑舌を教える出前授業。キャリア教育の一環としてテレビ番組制作の裏側なども紹介している。

ホテル日航熊本  
http://www.nikko-kumamoto.co.jp/

#### ホテル日航熊本

寿司職人やパティシエ、ベルマン等、ホテルの仕事を体験してもらい、働くことの大変さや喜びを知ってもらう。また、社内の人材を活用し交流することにより、ホテルやホテリエという職業に対する親和性を醸成する。

### 科学・技術

アイエックス・ナレッジ(株)  
http://www.ikic.co.jp/

#### ロボット&プログラム体験教室

都内で小学4～6年生を対象に実施。教育用ロボットキットとソフトウェアでプログラミングの楽しさを体験する。自分たちが作ったプログラムでロボットは動くのか?2人1組のチームで挑む3時間の教室。

京セラドキュメントソリューションズ(株)  
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/

#### 小学校での理科特別授業の実施

平成20年度より大阪市・枚方市の教育委員会に協力し、小学6年生を対象に理科特別授業として、社員が講師となり、電気が身の回りの物にいかに関与しているかを、複写機の原理を利用し実験をまじえて講義している。

(株)東芝 東芝未来科学館  
http://toshiba-mirai-kagakukan.jp/index\_j.htm

#### 川崎さいわい少年少女発明クラブ

小学4～6年生を対象に1年間の継続した活動を通して、東芝の技術や製品の基盤となる「科学の原理や仕組み」を体験・体感的に理解し、生活に役立つ発明の芽を育てる活動を行っている。

(株)ニッピ  
http://www.nippi-inc.co.jp/

#### 体の中でも外でも大活躍。

#### カラーゲンがつくる不思議な世界。

カラーゲンやゼラチンを題材に消化の実験を行いながら、ウシを食べてもなぜウシにならないのか、食べ物を分解・消化し、栄養として吸収する体の仕組みを学ぶ。講師や実験アシスタントはすべて社員が行う。

三菱重工業(株)  
http://www.mhi.co.jp/csr/index.html

#### 夏休み特別理科授業

#### 風見鶏をつくろう&傘袋ロケットをつくって飛ばそうin福島

福島県の仮設住宅に暮らす子供たちを対象に、風見鶏と傘袋ロケットの工作を行う出前理科授業を福島県内の体育館で実施。工作を通じて宇宙やロケットに関する原理や仕組みを学習する。中日新聞社と共同で実施。

三菱電機(株)  
http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/case/field/science/education/

#### 「三菱電機サイエンスフェスタ」～科学の面白さを発見～

次代を担う子供たちの理科への関心を高め、将来に向けたエンジニアの育成を目的として、尼崎市教育委員会と連携、同市内の小中学生を対象に年3回(土曜日)、同市内の会社施設利用にて、実験を中心に理科教育を実施。

### 自然・環境

朝日ガスエナジー(株)  
http://www.asahigas.co.jp/

#### 熱気球体験搭乗

小学4年生を対象に、熱気球体験搭乗を実施。理科の授業における「空気の温まり方」を教科書で学ぶだけでなく、熱気球体験搭乗を通じて、楽しみながら学んでもらう機会を提供。今後も学習への興味、意欲向上に貢献していきたい。

NECネットエスアイ(株)  
http://www.nesic.co.jp/csr/contribute-education.html#01

#### 南極くらぶ

日本南極地域観測隊越冬隊に参加した社員が、南極の気候・天候・生存する動物などについて、何万年も前にできた氷などの実物に触れさせながら授業を行う。また、中高生にはキャリア教育の一環として実施している。

大塚製薬(株) 徳島支店  
http://daizu1605.blogspot.jp/

#### 親子で大豆を育てよう!体験ツアー

徳島県内在住の親子に大豆の種植えから収穫までを一貫して行っていただく体験プログラム企画。親子のコミュニケーションと地元への貢献を大切にしながら食育を行っていく。

(株)山陰中央新報社  
http://www.sanin-chuo.co.jp/

#### さんいん環境スクール

山陰中央新報社が事務局を務め、森林保全活動などを行う「環境キャンペーン」の一環。小学生を対象に、地元の太陽光パネル販売会社や建築・土建会社、水族館と連携した各種工作、実験を通じて環境保護の大切さを学ぶ。

サントリーホールディングス(株)  
http://suntory.jp/MIZU-IKU/

#### サントリー水育(みずいく)「出張授業」

小学4・5年生を対象に、小学校の教室で行うプログラム。映像や実験を通して、自然のしくみや大切さを学び、地球上の水の循環の中にいる自分たちが、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考える。

宝酒造(株)  
http://www.takarashuzo.co.jp/environment/ecoschool/index.htm

#### 宝酒造エコの学校

自分たちが住む地域のごみ問題の現状やごみを減らす方法について、環境学習施設の展示見学やアルミ付紙パックから絵葉書を作るリサイクル体験等を変えながら、親子で楽しく学べるプログラム。

(株)千葉薬品  
http://www.yacs.jp

#### ヤックス自然学校 四季折々の自然体験活動

#### ～ Learning by doing ～

昭和51年より地域社会貢献事業の一環として、自然体験活動を通じて、「人と人」「人と自然」「人と文化」の3つのふれあいをテーマに、幼児～高校生、親子を対象とした四季折々のプログラムを継続的に実施。

(株)中日新聞社  
http://chunichi-kodomojuku.com/

#### 中日新聞のESD 地球未来こども塾

ESDとは、身近な問題を自分で解決する力を養い、世界が抱える問題の解決に導く人材を育てること。中部地方の小学6年生150人を愛知県三河地方にある東栄町に連れて行き、「子供たちが自ら考え行動する」ようなプログラムを用意した。

(株)ドミー  
domy.co.jp

#### 親子で豆腐作り体験

毎年、小中学生の親子を対象に、種まき・枝豆収穫・大豆収穫・豆腐作りと4つの体験型イベントを同じ親子に参加していただき、定点での観察をしながら食の大切さを理解してもらう取組を行っている。

(株)西日本新聞社  
http://www.nishinippon.co.jp/wordbox/article/7592

#### 西日本新聞ハチドリ隊

九州在住の中高生を対象に、平成20年度から海外ボランティア体験を通じて、地球環境について考えてもらおうと実施。黄砂の原因となる中国・クブチ砂漠やベトナム・ホーチミン市のマングローブに植林を行った。

(株)日本テレビアート  
http://www.ntvart.co.jp

#### 「アート de GENKI!」 サンドで元気!プロジェクト

「サンドアート」を通して親子の貴重な夏の一時を思い出深いものにし、一緒に造形物を作る楽しさを通して豊かな心を育てるお手伝いをできれば、と考えた。又、海の環境保全の意識向上への内容を盛り込んだ。

ネットトヨタ岡山(株)  
www.netzokayama.com

#### 山陽新聞エコプログラム「地球環境と私たち」

「エコキャンプ」は環境学習や森づくり体験、自然観察教室等のプログラムを親子で体験してもらうプログラムで16回実施。「トヨタ自動車工場見学会」はエコカーの製造工程や企業の環境への取組を親子で見学してもらうプログラムで5回実施。

北陸コカ・コーラボトリング(株)  
http://www.hokuriku.ccbc.co.jp/

#### 北陸コカ・コーラグループ

#### 「うるおいの森づくり」植林活動

飲料製品に欠かせない森からの良質な地下水を守り、企業CSR、環境保全の取組として、平成17年より保水力に富んだ広葉樹を富山県南砺市の山々に継続的に植林している。富山県内の行政と企業との森林保全協定は初である。

(株)北海道新聞社  
http://adv.hokkaido-np.co.jp/eeco/special/greenschool15\_report.htm

#### 北海道エコアクション「グリーンスクール2014」

真夏の北海道の自然環境の中で、実際に「見て・触れて・体感する」体験型のイベントとして開催。同世代の仲間とともに、環境の大切さを等身大で理解させるとともに、自ら考えて行動する意識を育む。

http://adv.hokkaido-np.co.jp/iku-mirai/whiteschool/index.html

#### 育企画「ホワイトスクール2015」

世界で活躍しているアスリートを雪山せんせいとして招へい。冬の北海道の自然に触れながら環境の大切さを等身大で理解してもらう体験学習を実施した。

SMBCコンシューマーファイナンス(株)  
http://www.promise-plaza.com/about/educate

### お金に関する体験プログラム

全国18箇所にあるお客様サービスプラザが主体となり、小学生にはお金の役割や大切さを学ぶ“お金の流れ体験ゲーム”の開催や、高校生には家計管理やローンクレジットなどに関する出前講座を平成23年度から実施。

大阪ガス(株)  
http://www.osakagas.co.jp/shokuiku/news150912r.html

### その時、あなたを守れる、あなたになろう。

#### 「親子で学ぼう!防災クッキング」体験セミナー

災害に見舞われた時、生き抜く知恵と力の一つとして、栄養バランスがありカセットコンロとフライパン1つでできる、スナック菓子を使ったメニューなど、ご家庭内にある身近な食料やものを使って災害時を乗り切る方法を、セミナーと料理講習で紹介。

(株)かりゆし  
www.kariyushi.co.jp/ikensakubun.html

### 観光文化事業

#### 「おきなわの観光」意見発表コンクール

#### 「おきなわの観光」絵画コンクール

沖縄県在中の学生を対象に、「おきなわの観光」意見発表・絵画コンクールを平成14年より開催。意見発表コンクール「専門・大学の部」においては、審査の段階で学生のプレゼンに審査員が助言を行う。

(株)関西都市居住サービス  
http://www.kul.co.jp/

### クリーン&歴史ウォーク(地域美化活動・健康ウォーク)

小学生以上を対象に地域周辺の史跡等を歩いて巡り、地域の文化に触れながら、美化活動を通じて、地域社会の貢献と育成に取り組む。運営には畿央大学の学生、教員の協力のもと、勾玉作り体験などを取り入れながら、平成17年から年2回開催。

(株)サニクリーン広島  
https://www.sanicleen-hiroshima.co.jp/

### おそうじ教室 ～今日から君も『おそうじマイスター』～

平成26年から小学校を中心に実施している。ホウキやゾウキンの使い方や場所別の清掃方法だけではなく、『なぜ掃除をしなければならないか?』等掃除の意義についても一緒に考えている。

住友理工(株)  
http://www.sumitomoriko.co.jp/csr/philanthropy/education.html

### 住友理工サッカーフェスティバルの開催

スポーツを通じた青少年の健全な育成を目的に、小牧市サッカー協会と協働で「住友理工サッカーフェスティバル」を平成18年より毎年開催。指導はJリーグの名古屋グランパスの選手、コーチが行い、プロサッカー選手とふれあう機会を子供たちに提供。

損害保険ジャパン日本興亜(株)  
http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/bousai/

### 防災人形劇、体験型防災ワークショップ

#### 「防災ジャパンダプロジェクト」

将来を担う子供たちとその親を対象に、防災について学び、体験する場を提供することで、災害から身を守るための知識や安全な行動について身につけてもらうことを目的としたプロジェクトを展開している。

(株)中日新聞東京本社  
http://www.tokyo-np.co.jp/

### こどもブックワールド

毎月1回、最終金曜日の東京新聞朝刊最終面に協賛広告主5社の児童書連合広告を掲載。その際読者プレゼントも実施。付帯イベントとして、児童書作家の講演会や、小学校での読み聞かせ会を開催。40年以上継続。

(株)新潟放送  
http://www.kidsp.net/ac/info.php?cd=1413340055

### 第12期 にいがたキッズプロジェクト

#### 「キッズチャレンジ 親子田植え・稲刈り体験ツアー」

家族の絆、郷土の自然・食文化への誇りの醸成と、協働作業の大切さを学ぶべく、農家や教育委員会、地元企業と連携し平成19年から実施している。小学生以上の子供が家族と一緒に、春から秋にかけ稲作に取り組む。

日本食糧新聞社 関西支社  
http://www.nissyoku-kansai.com

### キッズ食のミュージアム Part1～11

教育施設にて様々な「食」をテーマに掲げ、関連の食品企業や団体、組合等と共に、歴史や文化、製造までの流れや成り立ちを、展示やミニ体験、座学や調理体験などを通して伝えるイベントを開催し続けている。

(株)ハチパン  
http://www.hachiban.co.jp

### 8番らーめんキャッチボールクラシック

少年野球チームを対象に野球の基本「キャッチボール」を競技化したゲーム「キャッチボールクラシック」を行っている。何回正しくキャッチボールできるかを競うなかで「仲間が取りやすいところに投げよう」といった思いやりの心を醸成し、子供たちの健全育成に貢献できることを願っている。

(株)PFU  
http://www.pfu.fujitsu.com/

### 子供・宇宙・未来の会「いしかわ宇宙の学校」

同じ地域の「学校」「家庭」「地域・企業」が一体となり、次世代育成を目標に、自然や宇宙をテーマとした年間3回の「スクーリング(工作や実験)」、その間をつなぐ「家庭教育」また「特別スクーリング」を開催。

(株)ファミリーマート  
http://www.family.co.jp/company/eco/thanks\_letter/2015/index.html

### 「ありがとうの手紙コンテスト」

小学生が普段の生活の中で感じるありがとうの気持ちを手紙にして書くことを通じて、コミュニケーションを持つこと、人を思いやる気持ちを伝えることの大切さを学んでもらい、情緒面から子供の成長を支援する。

(株)平和堂  
http://www.heiwado.jp/syokuiku/

### 5ADAYスーパーマーケット食育体験ツアー

園児・小学生向けの2種類の食育体験ツアーがあり、スーパーマーケットで実物の食材に触れながら、バランスの良い食事、野菜摂取の大切さについて楽しく学べる体験学習。10年目となる平成26年度は約1,800名が参加。

(株)マルイ  
http://www.maruilife.co.jp

### 食でつなぐ まち・ひと・こころ～マルイの食育事業

平成17年度より、岡山・鳥取両県において地域の多様な団体と連携。学齢に応じた食農体験やインターンシップ、環境問題や地域社会の課題等に対して主体的に考え、行動する契機となる体験機会を創出。次世代育成に継続して取り組んでいる。

明治安田生命保険(相)  
http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/csr/society/area/soccer-school.html

### 小学生向けサッカー教室

Jリーグとタイトルパートナー契約を締結し、Jリーグおよび地元のJクラブ等を応援する取組の一環として、Jクラブチームの選手等が講師を務める「小学生向けサッカー教室」をこれまでに全国で230回開催。

ヤマハ(株)  
http://jp.yamaha.com/

### 手づくりギター教室

小・中学生を対象に、大学生ボランティア団体と協力し、ダンボールやつまようじなど身近な素材を使ってオリジナルの手作りギターをつくる教室を開催。ものづくりの魅力を感じてもらうとともに、楽器を演奏することの楽しさを体感してもらう。

平成27年度 青少年の体験活動推進企業表彰

## 広がる企業の体験活動

### 【中小企業部門】

(五十音順)

### 職業・仕事

(株)青木製作所  
http://www.tentre.com/

### とちぎアントレプレナーコンテスト

新しい商品やサービスのアイデア創出の場としてだけでなく、ビジネスの最前線にある企業経営者のサポートのもとビジネスプランを作成し、学生自身が実際に開業を目指す“実践的起業家教育プログラム”。

(株)アンビズム 長野ランチ  
https://www.futurecraft.jp/

### Summer Adventure CAMP 2014

Summer Adventure CAMP 2014は、長野の自然に囲まれた環境の中でゲームプログラミングを学べる小学生のための夏のキャンプ合宿。「ものづくり」の楽しさと自然がもつ豊かさを同時に体験!

(株)イワコー  
http://www.iwako.com

### 工場見学

「想像力豊かな人間に育って欲しい」との思いから、工場見学と組立ての体験を行っており、年間約10,000人の見学者が訪れる。製造に様々な経費がかかることなど、モノづくりの大変さや面白さを伝える工夫をしている。

(株)愛媛新聞社  
http://www.ehime-np.co.jp/

### 印刷センター親子見学会

夏休みの小中学生親子を対象に平成25年に新設した印刷センターにて実施。映像やスライドを用いて取材～原稿組み～印刷～新聞が届くまでを学習したり稼働中の輪転機を見学したりして新聞のできる様子を体感した。

寿製菓(株)  
http://www.okashinet.co.jp

### 工場見学、名菓「因幡の白うさぎ」目付け体験

米子市内の小学3年生を中心に実施し、菓子創りの流れを紹介し、手洗いや殺菌といった衛生管理の大切さを学ぶ。目付け体験で世界で一つの因幡の白うさぎをお土産として持ち帰ってもらい家族との会話に役立てる。

下関体育センター(株)  
http://www.taiku-center.co.jp/

### 職場体験

下関市が毎年行っている、中学生の職場体験学習として職場体験の場を提供している。子供たちが仕事を体験することにより、将来への夢を持てるようにするという趣旨に賛同している。

(株)上毛新聞社  
http://factory.raijin.com/index.html

### 上毛新聞印刷センター見学会

県内在住者を対象に印刷センターの見学会を行っている。小学校の団体が社会科学習の一環として大勢で訪れており、新聞づくりの工程を見学することにより、新聞をより身近に感じ、ニュースに関心を持つようになること事を目的に実施している。

トヨタカローラ香川(株)  
orangetoyota.co.jp

### ワクワクおしごと体験 キッズエンジニア

本物のクルマや工具を使って、子供たちに「クルマいじりの楽しさ」を伝え、見たり聞いたり触れる体験を通し、クルマを好きになって欲しい。また、クルマを取り巻く環境、エコについても学んでもらう。

(株)新潟日報社  
http://www.niigata-nippo.co.jp/mediaport/omoshiro-shinbunkan.html

### 新潟日報社体験施設「おもしろしんぶん館」における「新聞のひみつををまるごと体験&見学!」

小学生を主な対象として「おもしろしんぶん館」の見学を通して新聞の歴史や新聞づくりを学ぶ機会を平成26年から提供している。合わせて「印刷工場内見学」や「新聞読み方講座」を開催し、活字・新聞をより身近に感じてもらえる取組を実施している。

ネットトヨタ福井(株)  
http://www.netzfukui.co.jp/

### わがまちねっつプロジェクト「ぼくらまちのたんけん隊」

近隣の幼稚園・保育園の園児を迎え、ショールームや自動車の構造、整備の様子などを「まちのたんけん」として見学し体験をしていただくプロジェクト。

(株)福島民報社  
http://www.minpo.jp/

### 就業体験学習プログラム(インターンシップ)

大学生を対象に、2週間、新聞社の業務を体験させる。編集や広告だけではなく、販売店での活動も研修の一つ。「新聞を作り、届ける人の気持ちがあったからこそ、東日本大震災の翌日も途切れることなく、新聞を発行できたことを学んだ」と感想が寄せられた。

### 福島民報ナイトツアー

福島民報社本社と印刷センターで深夜の新聞制作工程を見学する。年5回程度実施している。対象は小学4年生から大人までで、新聞への関心や復興に向けた報道への理解を高めてもらうことを目的とし、取り組んでいる。

福島民友新聞社(株)  
http://www.minyu-net.com

### 小学生の社会科学習

小学生対象の取材体験や社内見学などを交えた体験活動を実施。社員が講師を務め、新聞の役割や新聞社の仕事について理解を深めてもらうとともに、新聞が学習面でも役立つことを紹介、新聞に親しんでもらう。

(株)丸大サクラ中薬局  
http://happydrug.co.jp/

## こども調剤体験

ヘルスリテラシーの啓蒙イベント「青森ドラッグストアショー」内の企画。  
幼児～小学生を対象に、薬局で行われている薬剤師の実際の作業を体験し、薬剤師の仕事に対する興味と理解を育むことを目的にしている。

(株)宮崎日日新聞社  
http://www.the-miyanichi.co.jp/

## こども記者

編集デスクが記事の書き方や写真の撮り方を指導する。普段小中学生が体験できない出来事取材してもらうことにより、社会を広く知ってもらう。

山日YBSグループ(株)山梨放送  
http://www.ybs.jp

## 山日YBSグループ夏休みマスコミジュニアツアー

小学5、6年生と中学生を対象に、実際の機材を使った体験ツアーを実施。小学生はアナウンサーとカメラの前で原稿を読み、中学生は役割を決めて一つの模擬番組を制作。身近なテレビやラジオの裏側を学んでもらう。

## 科学・技術

中日本冰糖(株)  
http://www.nakahyo.co.jp/csr/class/

## 氷砂糖のとけかたを通じ、理科などに興味を持とう！

明治28年創業の「馬印」ブランドの氷砂糖製造メーカー。ビンの中に梅と氷砂糖を入れるとなぜか溶ける。そんな不思議な実験を小学5年生を対象に社会貢献事業の一貫として、毎年数校実施している。

## 自然・環境

(株)岩手日報社  
http://www.iwate-np.co.jp/

## 遊・YOU塾

県内の小中学生が対象の体験型教育旅行。平成8年の企画から今年21年目を迎え、参加者は累計4千人を超えている。自然環境、文化、習慣の異なる訪問地で様々なプログラムを体験し学ぶ。

(一社)葛巻町畜産開発公社 ※青少年体験活動を地域で推進する参考例  
http://kuzumaki.jp/

## くずまき高原牧場スノーワンダーランド実行委員会

平成13年より16年間継続して実施している子供長期自然体験キャンプ。当活動は、体験学習法に主眼を置き、親元を離れた長期宿泊体験の中で仲間と共に自然体験や酪農体験を経験することで、主体性や創造性を育むことを目的とする。

## くずまき高原牧場 森のようちえん

幼児とその家族を対象にした自然体験活動。当活動は、牧場の多面的機能を活用し、幼児期の主体性を育むことを目的とした活動。また、幼児とは別に、家族も自然体験や酪農体験を経験することで、自然体験活動についての理解醸成を図っている。

(株)グローバルマシーン  
http://www.global-machine.jp

## 林檎のできるまで

保育園児(1歳から3歳児)を対象に地域社会の子供たちの成長のお手伝いとして林檎の木の所有権を贈呈し、花粉付けや摘果、そして収穫し、食物を食べる楽しみとその成長を学んでもらうために、平成27年度より実施している。

ひびき灘開発(株)  
URL:http://www.hibikidev.co.jp

## みんなの力で森を作ろうプロジェクト

平成22年度から産業廃棄物処分場跡地で、小中学生を対象に自社生産した苗木とカンガルー糞で生産した堆肥を使用して緑化体験学習を実施している。活動の中で苗木の生産には、障害者も参加していることも紹介している。

(株)福島民報社、(株)河北新報社、(株)岩手日報社  
http://smile-tohoku.jp/

## スマイルとうほくプロジェクト

磐梯山町営牧場のツバ畑にてスマイルマークのフラワーアートを描くために種まきを平成23年度より実施。地元の青少年スポーツ団含め約60名が参加。被災地へ送られたメッセージカードと一緒に植えるなど、青少年の心情に寄り添った活動を展開。

(株)マルコシ  
http://www.marukoshi.jp

## 親子農業体験塾 志路・竹の子学園

今期で12期目を迎える志路・竹の子学園は、小学生を対象に親子での参加を原則とし、自然に親しみながら農作物を育て、地域の人たちとの交流を通じ、人間的に成長することを目的として活動している。

## 生活・文化

(株)アポロガス  
http://www.apollogas.co.jp/

## 手づくりキャンドル教室

キャンドルイベントで使用したキャンドルを再生して子供たちとオリジナルキャンドルを作る「手づくりキャンドル教室」。物を大切にすること、火のあたたかさを伝えている。

(株)石川ミリオンスターズ  
http://www.m-stars.jp/

## 小学校での講演および野球教室

### “夢を叶えるために大切なことを学ぼう”

石川ミリオンスターズの選手が小学校を訪問。講演や質疑応答から、生徒たちに選手がこれまで夢を叶えてきた過程を伝えた後、野球教室を開催。夢を叶えた選手を身近に感じてもらい、夢や目標を持つ手助けを行う。

(株)岩手日報社  
http://www.iwate-np.co.jp/

## 小学生3×3(スリー・バイ・スリー)選手権岩手県大会

3人制ハーフコートバスケットボール競技。県内小学生の健全育成と3×3競技の普及を目的としている。全国では唯一の全県規模での小学生を対象とした大会。セルフジャッジを基本とし、ゲームを通してフェアプレーを学ぶ。

(株)AC福島ユナイテッド  
http://fufc.jp

## 保原小学校サッカー教室withかみや

福島ユナイテッドFCトップチームの選手を複数名派遣し、子供たちを対象にサッカーの指導を行う。サッカー選手という「憧れの存在」を身近で感じてもらい、スポーツを通じて福島を盛り上げることを目的としている。

愛媛県民球団(株)  
http://www.m-pirates.jp

## 子ども元気づくり合同合宿事業

愛媛マンドリンパイレーツの選手たちと地元小学生との合同合宿を行い、野球を中心としたスポーツ等による交流を深めるとともに、集団生活による参加者相互の交流を図り、子供たちの健全育成を促進する。

香川オリーブガイナーズ球団(株)  
http://www.oliveguyners.jp/

## 香川オリーブガイナーズ野球教室

香川県内の140名の小学生を対象に野球教室を実施。内容は怪我をしにくいストレッチや準備運動、野球の基礎となるキャッチボールなどを指導。教室中は野球の技術指導だけでなく挨拶や礼儀の大切さも指導した。

(株)鹿児島プロスポーツプロジェクト  
http://www.kufc.co.jp/

## かぎんキッズドリームチャレンジ

運営するサッカークラブ「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにて、小学生以下の100人を対象にサッカー教室を実施。子供たちの体力や技術の向上、コミュニケーション能力の強化、心の育成に取り組んだ。

サイクルスポーツマネージメント(株)  
http://www.blitzen.co.jp

## 坂田新聞店プレゼンツ

### 宇都宮ブリッツェン自転車安全教室

日本初の地域密着型プロロードレースチームとして平成21年に誕生した宇都宮ブリッツェンが自転車の楽しさを伝えながらも、交通事故減少や自転車文化の発展を目指して行っている子供向けの自転車安全教室。

(株)埼玉県民球団  
www.musashibears.com

## 長瀬バッティングスタジアム 武蔵ヒートベアーズ 野球教室

バッティングスタジアムでバッティング指導の野球教室を行う。選手が参加者にマンツーマンでスイングチェック、バッティングチェック、質疑応答などを行うため、中身の濃い指導を体験できる。

(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング  
http://www.bc-l.jp/league-info/mikito-aed-project

## MIKITO AED PROJECT

地域での、特に運動施設などにおけるAEDの設置普及、使用方法の理解促進活動。過去に起きた不慮の事故を風化させないため、野球場で観戦者への広報、AED使用体験や選手でのデモンストレーションを行う。

(株)高木包装  
http://www.takagi-hoso.co.jp

## 奈良を包むおもてなし

地産地消を促すことのできるような商品開発に取り組んでいる中で、県内の大学生の協力の下、特産品を“包む”をコンセプトにパッケージの意味を考えた。多様なアイデアで魅力的な奈良らしいアソートボックスに出来上がった。

(株)千葉日報社  
http://www.chibanippo.co.jp/\_event/14oncon/

## ちば音楽コンクール

県内在住、在学(在勤)および、県内でピアノの指導を受けている未就学児童～成人向けの音楽コンクール。県内音楽教育の向上、音楽的才能の発掘、優れた音楽の普及を目指して開催。

(株)槌谷  
http://www.kakiyokan.com

## 食べてみたい『夢のお菓子』プロジェクト

幼稚園児から小学生までを対象とし、「こんなの、あったらいいな」と感じるお菓子の絵を募集。優秀作品を実際に職人が作り、11月の工場祭にてお菓子を展示、描いた子供にプレゼント。平成21年度より実施。

(株)長崎新聞社  
http://www.nagasaki-np.co.jp/index.shtml

## 長崎新聞社杯少年ソフトボール大会

県内約90チームが一堂に会し、県内少年ソフトボール王座を競う。日々の研さんを競うだけでなく、ソフトボール競技を通じた人間形成を養う。過去34大会を開催。地域の高齢者、大学生などが球審や裏方などで大会を支えている。

(株)長野県民球団 信濃グランセローズ  
http://www.grandserows.co.jp/

## プロ野球チームによる立ち直り支援活動

長野県警少年課が立ち直りを支援している少年たちと、信濃グランセローズの選手と一緒に公式戦の会場を設営。少年たちと選手は同年代。この体験が自分を見つめ直し、将来の目標設定などの良い機会になればと考える。

(株)新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ  
http://www.niigata-albirex-bc.jp/

## 南三陸・石巻ベースボールキャラバン

被災地の子供たちに、弊球団の選手とふれあいながら野球を楽しんでいただくことや、野球の基本の練習方法やプロの技術を楽しみながら学んでいただくことを目的としている。

(株)新潟日报社  
http://www2.niigata-nippo.co.jp/kodomo-summit/

## にいがた子どもサミット ～かべ新聞コンクール～

平成26年度から実施。小学3年生から中学3年生までを対象に自分たちの暮らす地域のことを調べ、壁新聞にしてもらい、コンクールを実施。優秀校は本事業の総括イベントとなる「にいがた子どもサミット」に登場し、学びの成果を発表する。

(有)花ごころ  
http://www.hana-gokoro.net/

## 花育

お花を通して命の大切さ尊さを学び、豊かな感受性を育むための体験学習。自由な発想で花を活けるという事を通し、創造性や独創性などが育つことにつながると考えている。特別支援学校や聴覚支援学校で活動をしている。

(株)ヤノメガネ  
http://www.yanomegane.jp

## 第34回ヤノメガネ少年野球教室

“健全な視力は健康な身体づくり”をテーマに昭和56年より毎年実施し、山本浩二氏など日本プロ野球界で活躍された一流選手に直接実技指導していただき、スポーツを通じて子供たちの健全育成を応援している。

(株)龍崎工務店  
http://ryuzaki.co.jp

## 企業のCSR「過疎地域活性化事業」

### (ハーモニープロジェクト)

地域社会と連携し「過疎地域活性化」に取り組んでいる。その中で次世代を担う学生や子供たちを対象に、インターンシップ、出前講座、森林教室、和紙すき体験等を実施。目指すは「過疎地域活性化モデル」である。

(株)レーベル  
http://www.meiko-level.com/

## 第6回 盲導犬ふれあい体験フェア

普段では体験できない盲導犬の育成について説明や体験歩行訓練、〇×クイズ等を行い、より身近に、より深く盲導犬の必要性や存在価値を知ってもらうためのイベントを行っている。